



「五ヶ瀬中学校校歌より」

学 び 舎

五ヶ瀬中学校 学校便り
令和5年12月19日 No.9
文責:校長 永 富 雅 樹

2学期が終了します

12月20日で2学期終業の日を迎えます。今学期も子どもたちは自分の力を伸ばすべく、授業や行事などの様々な場面で全力を出し切って取り組んでくれたと感じています。学習面では県内で実施されるテスト、検定試験などで成果を見せ、特に3年生は力をつけ、向上してきた結果を残してくれました。また、文化面でもたくさんの生徒が表彰を受け、活気が伝わって



くる2学期でした。これも、『早寝・早起き・朝大豆』をキャッチフレーズとした五ヶ瀬町家庭教育五箇条を意識した各御家庭の取組によって支えられていると感謝しております。

一方で、冬休みにおいて、携帯電話やスマホ等の使用に関して心配な面があります。各家庭で使用時間などルールについて、再度確認する時間を設けて、メディア漬けやネット依存にならないように、生活のリズムや効率的な時間の使い方がうまくいく冬休みになるようお願いします。

R.S.T(リーディング・スキル・テスト)の実施

1、2年生は、12月15日に RST を受検しました。簡単に言えば「読む力を測るテスト」です。五ヶ瀬町では、平成30年度から実施し、その当時県内で初めての取組で、その背景はOECD加盟国の実施するPISA(ピサ)テストの結果から、日本の子どもたちの「読解力」の低下が話題となっていました。その際、子どもたちは、教科書レベルの平易な文章の意味を理解できていないのではないか、ということが出発点となっています。要するに、授業の際に「教科書の内容が読み取れていない。」「教師の説明が理解できていない。」状態で授業に参加している生徒が多数いるのではないかと、という仮説のもとに作られたテストです。



約1時間で100問近いテストを体験した生徒からは「問題量が多く、集中力がもたなかった。」「文章が長いので読むのに時間がかかった。」「日頃から読む訓練をしたい。」などの感想も聞かれました。このことに気付いたことでも、読み取りミスなどが減り、学習効果が上がると感じました。各生徒に個票が配付されますので、家庭で話を聞きながら、確認してみてください。

五ヶ瀬デザインプロジェクト(GDP) 審査会及び表彰式

12月18日に、3年生代表5名による発表会が五ヶ瀬町役場にて開催されました。この日は、小迫町長をはじめ、町の行政の中心の方々が多く参加され、発表内容の審査を行っていただきました。審査の結果は以下のとおりです。

中学校では、小中9年間で取り組む豊かな体験活動の集大成として「五ヶ瀬デザインプロジェクト(GDP)」に取り組んでおり、9月に校内発表会を実施して、発表者が選考され、当日にのぞみました。生徒のみなさんの五ヶ瀬町にける思いが伝わりましたし、これから町を支える人材に成長することを期待しています。



- ◇ 最優秀賞 戸高 来夢さん
「高齢者と保育園が協力して取り組めば共に助け合う良い町になるだろう」
- ◇ 優秀賞 秋岡 真和さん
「オンラインワーカーに五ヶ瀬で仕事をしてもらえば五ヶ瀬が活気づくだろう」
- ◇ 優秀賞 藤木 心菜さん
「イベントやアプリ開発をすれば五ヶ瀬が活気づくだろう」
- ◇ 優良賞 甲斐 冬真さん
「フットパスで五ヶ瀬を全身で味わえば観光客が増えるだろう」
- ◇ 優良賞 興梶 璃人さん
「レトルト特ホル丼を作れば爆売れするだろう」

